

農村環境向上活動情報

平成20年4月14日

4月12日(土)、下田原南部地域資源保全隊(宇都宮市下田原町:齋藤悟代表)では、魚の生息環境を守るため、「簡易な水田魚道」を2箇所設置しました。「角形U字溝可動式180mm」「波付丸形管100mm」タイプ

当日は、朝から設置水路の補修などの共同作業に取り組み、準備が整ったところで、「メダカ里親の会(会長:水谷宇都宮大学教授)」会員の支援のもと、賑やかに楽しく魚道設置に取り組みました。

今後は、水田への魚の遡上状況の確認など、効果を地域みんなで見守っていくとともに、今年の「田んぼまわりの生きもの調査」に向けて楽しみが増したといった声等もありました。

今回は、水路と水田の間に農道がある特殊な現地でしたので、作業は2時間程度、材料費は、7万円程度

● 角形U字溝可動式180mm

設置箇所の整備



受台
魚道
組み立て



漏水試験



完成

● 波付丸形管150mm

既存の排水管(道路横断管)
内に設置

